

はちまんたい

No. **32**
2013年(平成25年)
8月8日

議会だより



主な内容

- 6月定例会……………02
- 一般質問……………04

輝け、子どもたち⑬ -寄木小-

寄木小学校(小澤眞由美校長、児童102人)では、4・5・6年生が鼓笛演奏に取り組んでいます。昼休み時間などを利用して練習を行い、同校の伝統として大切に引き継がれています(みんなの心を一つにし、5月25日の運動会で披露した鼓笛演奏)。

Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

6月定例会
開催

15議案を原案可決
3保育所を民営化



市議会第2回定例会（6月定例会）最終日（6月21日）

平成25年八幡平市議会第2回定例会（6月定例会）を6月14日から21日までの8日間、市議会議場で開催しました。今回の定例会では、10人が一般質問をしたほか、大更保育所、あしろ保育所、あしろ保育所畑分園の民営化に関連した議案などの審議を行い、全15議案を原案のとおり承認・可決しました。ここでは、4月30日に開催した第1回臨時会と併せて、6月定例会の主な内容を紹介します（金額はそれぞれ1万円未満切り捨て）。

◆4月30日◆

第1回臨時会

原案可決

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算第1号
歳入、歳出それぞれ427万円を増額するもので、主な歳出は一般廃棄物最終処分場土壌層運搬敷きならし業務委託料（350万円）です。

◆6月14～21日◆

第2回定例会

適任と決定

●人権擁護委員候補者の推選に関し意見を求めることについて
9月30日で任期が満了となる八幡博さん（63）＝石名坂Ⅱを、再び人権擁護委員に推薦しようとするものです。



八幡博さん

原案可決

●八幡平市選挙公報の発行に関する条例
八幡平市議会議員と八幡平市長選挙で、候補者の氏名や経歴、政見などを掲載した選挙公報を発行するため、必要な事項を定めようとするものです。

●八幡平市一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例
国の例に準じ、給料を7月1日から来年3月31日まで市長、副市長、教育長が3%、一般職は平均2%減額しようとするものです。

【反対討論】米田定男議員
国が地方交付税の削減という形で、地方自治体に対し、職員の給与の減額を実質的に強要することはあってはならないことです。震災復興のためであれば、財源の確保についても被災地以外への3兆円を超える復興予算の流用を正すべきです。国の政治の責任を地方自治体に転嫁したのと言わざるを得ないことから、この議案と各補正予算には反対します。

●八幡平市保育所条例の一部を改正する条例

民間移管するため、大更保育所を来年3月31日、あしろ保育所と同保育所畑分園を平成27年3月31日で廃止しようとするものです。

問 27年度から公立の保育所は5カ所になりますが、今後も民間移管を進めていく考えですか。
答 児童の動向と、これから「子ども・子育て支援計画」を策定する中で検討していくことにしています。

●財産の無償譲渡に関し議決を求めることについて

民営化に伴い、大更保育所とあしろ保育所の財産を社会福祉法人杉の子会に無償譲渡しようとするものです（大更保育所Ⅱ来年4月1日、あしろ保育所Ⅱ平成27年4月1日譲渡）。

問 畑分園の財産は市で管理するのですか。
答 起債の償還が終わった時点で無償譲渡します。

●平成25年度八幡平市一般会計補正予算第2号

歳入、歳出それぞれ1億3207万円を増額するも

請願1件を採択
発議案3件を可決

第2回定例会では、請願1件を審査し「採択」と決定したほか、議員発議による意見書2件と条例1件が提出され、審議の結果、原案のとおり可決しました。

請願

■教育民生常任委員会審査
◎岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める請願（請願者Ⅱ岩手県保険医協会会長・箱石勝見） 県の医療費助成制度について現物給付を導入することを求める内容
▼結果 採択
▼本会議の審議結果 全会一致で「採択」に決定

議員発議

■岩手県の医療費助成制度について現物給付の導入を求める意見書（提出者Ⅱ教育民生常任委員長・田中榮司夫）
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決（意見書は岩手県知事に提出）

■八幡平市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の臨時特例に関する条例（提出者Ⅱ田村孝議員） 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復旧事業などに対処する必要性から、7月1日から来年3月31日まで議員報酬を3%減額しようとするもの
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決
■TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する意見書（提出者Ⅱ高橋喜代春議員、米田定男議員） TPP交渉については、慎重な対応と守るべき国益を断固として守るよう強く求める内容
▼本会議の審議結果 全会一致で原案可決（意見書は内閣総理大臣、外務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣に提出）

平成25年八幡平市議会第2回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果一覧

議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
議案名		立花 安文	大森 力男	渡辺 義光	工藤 剛	渡邊 正	高橋喜代春	遠藤 公雄	古川 津好	小野寺昭一	田村 孝	田中榮司夫	高橋 守	伊藤 一彦	高橋 悦郎	小笠原壽男	関 善次郎	三浦 侃	松浦 博幸	大和田順一	高橋 光幸	米田 定男	北口 和男	工藤 直道
議案第3号	八幡平市一般職の給与等の臨時特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第10号	平成25年度八幡平市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第11号	平成25年度八幡平市国民健康保険特別会計（診療施設勘定）補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第12号	平成25年度八幡平市国民健康保険西根病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第13号	平成25年度八幡平市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第14号	平成25年度八幡平市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

※○＝賛成、●＝反対。瀬川健則議長は採決には加わりません



たかはし きよ はる
高橋喜代春 議員

質問した事項

- 地方交付税、合併特例債について
- 放射能汚染について
- 保育サービスについて

普通地方税一本算定に向けて 厳しい財政を認識し市政運営

高橋議員 33年度からの一本算定に向け、28年度から普通交付税が段階的に削減されることを市はどのように捉えていますか。

市長 八幡平市は、地方交付税をはじめとする依存財源が歳入全体の8割を占めています。合併16年目で本来の普通交付税額となる一本算定を迎えますが、28年度から32年度までの間に、最終的には15億円減る想定をしていることから、厳しい財政運営になるものと認識しています。

高橋議員 現在、国は東日本大震災からの復興や福島原発事故からの復旧事業など、痛手を被っています。今後、地方交付税の削減もあるのではないのでしょうか。介護保険制度で要支援者のサービスを見直し、各市町村に任せるような流れも出てきています。



原子力発電所事故による風評被害を払拭し、安全な牛乳、肉牛の生産につなげるため、牧草地の再生事業を実施していきます

市長 地方交付税は、地方自治の根幹をなすものであり、国でも交付税措置を堅持していくものと考えています。

牧草地の放射能対策
高橋議員 昨年度から畜産農家では牧草地の再生対策を実施していましたが、その結果、生草換算で1ヘクタールあたり22ベクレルを超えた場合、再度牧草地の除染作業をするのですか。

農政課長 県農業公社実施事業で、次年度に基準値を超えた場合、再度公社事業で実施できます。

産業部長 国や県の対応を見極めながら対応します。

の結果、生草換算で1ヘクタールあたり22ベクレルを超えた場合、再度牧草地の除染作業をするのですか。

農政課長 県農業公社実施事業で、次年度に基準値を超えた場合、再度公社事業で実施できます。

産業部長 国や県の対応を見極めながら対応します。

保育サービスの状況
高橋議員 少子化が進む反面、全国的に保育所入所待機児童が増加していますが、市の状況はどのようになっていますか。また、0歳から3歳までの子どもを指導する保育士の状況をどのように捉えていますか。

市長 5月1日現在、入所希望に対して入所できない児童数は、0歳児11人、1歳児5人、2歳児2人で、低年齢児の入所希望が増加傾向にあります。市の全ての保育所は、国が定めた保育士の人数の基準をクリアしていますが、保育士の確保が難しい状況だったと聞いています。国では、本年度から保育士の給与待遇改善を図る臨時特例事業を実施していることから、市でも同事業を活用し、保育士の円滑な確保に努めます。



高齢者の学ぶ意欲や活動への行政支援が必要です
(田頭公民館「曙大学」)

渡辺議員 市の高齢者人口は増加していますが、老人クラブ数や会員数は、減少が続いています。行政の育成と支援の必要性の考えを伺います。

市長 老人クラブ数や会員数の減少は、若い人たちの加入が少ないことが課題です。老人クラブやその年代の皆さんは、地域による見守りや生きがいづくりなど、地域活動の中心的な役割を担っています。これらを包括的に捉えた育成支援を検討する必要があると考えています。

渡辺議員 市の高齢者人口は増加していますが、老人クラブ数や会員数は、減少が続いています。行政の育成と支援の必要性の考えを伺います。

市長 老人クラブ数や会員数の減少は、若い人たちの加入が少ないことが課題です。老人クラブやその年代の皆さんは、地域による見守りや生きがいづくりなど、地域活動の中心的な役割を担っています。これらを包括的に捉えた育成支援を検討する必要があると考えています。

境界杭や視線誘導標損壊の早期修繕を
渡辺議員 市管理の公道や公園などの境界杭倒壊や視線誘導標の破損が各所に見られます。市民から携帯電話などのメールで破損状況を画像提供できるシステムを作っているのでしょうか。

市長 ご提言のとおり、市民の映像を含めた情報提供があった場合は、大切に扱い、協力をいただき、道路維持、補修に努めます。



わたなべ よし みつ
渡辺義光 議員

質問した事項

- 老人クラブの活性化と育成支援について
- 石川一禎・啄木親子の顕彰事業について
- 道路施設などの破損状況情報について
- 「八幡平ふるさと会との連携と支援について」

八幡平市シニア大学開設支援

一体感醸成のため具体的検討

渡辺議員 60歳以上を対象とした「八幡平市シニア大学」を開設し、仲間づくりやリーダー養成などの学習活動で一体感醸成を進めてはどうでしょうか。

市長 仲間づくりの機会を設け、一体感を醸成していくことが必要だと認識し、具体的な事業については検討項目とします。

啄木の父・一禎の生誕の地です。学習活動や歌碑、標柱建立などを進め、郷土の偉人として顕彰し、先生たちも学び、子どもたちにも教えてほしいです。

教育長 設置場所の確保が課題であり、ハード面の整備は、地域や志をもつ皆さんの機運の盛り上がり期待したいと考えています。

※渡辺義光議員が考える川上行政Ⅱ介護や病気になることから対策や対応を川の流れに例えると「川下・川中行政」と捉え、このようにならないために教育や人づくり、心おこしなど、川の上流や源流の視点に立った行政施策



まい た さだ お
米田定男 議員

質問した事項

■「大更駅周辺まちづくり計画」について

「駅周辺まちづくり計画」問う

指摘された点は変えなければ



昨年3月に策定された大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画書

米田議員 都市計画道路大更駅前線調査設計検討業務委託事業は、予算では約8700万円の巨額事業ですが、委託業者の決定は随意契約によって行われました。極めて異例ですが、本質的な問題は随意契約であれ、一般競争入札であれ、結果

として選定された業者が最もふさわしい業者であるかどうかだと思います。「大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備基本計画」そのものの内容を検証すれば、この業者の能力がふさわしいかどうか判断できることになるので、計

画書に沿って質問します。この計画書の約3分の1は、「対象地域の現況と特性」について述べられています。しかし、その内容は極めて不十分だと言わざるを得ません。例えば、人口や産業、観光などに関わる数値が並んでいます。それらは全て西根地区に限定されている点が納得いきません。さらに、これらの数値については、合併以後の数値は把握できないとの注釈が付いています。合併後、7、8年経過しているのに、その間の数値がなくてもいいような現況把握のデータなどは、そもそも必要の無い数値を並べただけに過ぎないのではないのでしょうか。最大の問題は、そのような数値を並べているのに、それらを総合的に判断した結果としての現況について

の記述が全くないことです。これでは現況についての共通認識は得られないのではないのでしょうか。副市長 実施計画のような個別の具体的な計画をつくる上で、検証しながら精査していきます。米田議員 駅東地区に住宅団地整備の計画があります。が、根拠の一つに「松尾、安代地区には大更に住みたいと思っている人がいる」との記述があります。住民一人一人がどこに住むかは個人の自由ですが、市が住宅団地を作り、そこへ誘導するようなことを市の政策として実行するわけにはいかないのではないですか。市長 中身を精査しないまま計画を策定したことは、申し訳なく思っています。指摘された表現については、変えていかなければならないと考えます。



お の でらしょういち
小野寺昭一 議員

質問した事項

■空き家対策について
■岩手国体の取り組みについて

空き家適正管理条例の制定

年度内に一定の方向性出す

小野寺議員 近年、市内でも管理不十分な空き家が増加しており、防災や防火、衛生上、生活環境に影響を与えるようになっていきます。八幡平市でも「空き家等の適正な管理に関する条例」の制定を早期に進めるべきではないでしょうか。

市長 20年度の住宅土地統計調査によると、1860戸の空き家が市内にあるものと想定していますが、市では市内全域を対象とした独自の調査は実施していません。本年度、空き家対策庁内検討委員会を立ち上げ、

具体的な調査や対策を行います。条例の制定についても、同検討委員会で検討し、年度内には一定の方向性を示したいと考えています。

岩手国体の取り組み

小野寺議員 平成28年に開催される「希望郷いわて国体」について、八幡平市では、テニス（少年男女）、相撲、ライフル射撃、ラグビー（少年男子）、ゴルフ（女子、少年男子）の5競技を実施しますが、現在の取り組み状況はどのようなになっていますか。

教育長 八幡平市では、昨年9月に教育委員会に国体推進室を設置し、11月には市準備委員会を設立しています。7月に日本体育協会から岩手県開催が正式決定され、県が準備委員会から実行委員会へ改組することから、市でも同様に実行委員会へ組織を改め、準備段階から実施段階へ向け、体制の強化を図ります。競技会場については、テニスは安比高原テニスクラブ、相撲は市総合運動公園体育館（特設土俵を設置）、ライフル射撃はスモールボ

アライフルが田山射撃場、エアライフルとエアピストルは旧田山中学校（特設射場を設置）、チームライフルとチームピストルは田山小学校体育館、ラグビーは上寄木グラウンド、ゴルフは女子が安比高原ゴルフク

ラブ、少年男子は南部富士カントリークラブでの開催を予定しています。競技役員については、競技運営に支障がないよう編成し、ボランティアの募集など、多くの市民に参加していただくよう努めます。



希望郷いわて国体は、東日本大震災からの復興のシンボルであるとともに、八幡平市を全国にアピールする大会です（昨年11月14日に開催された市準備委員会設立総会・第1回総会）



ふるかわ つよし 議員
古川津好

教育行政演述は委員長自ら

今後考える余地はあります

古川議員 いじめや体罰の問題が発生するたび、教育

教委のありよう

教育委員長 本来であれば、教育委員長である私が述べるべきであると思いますが、八幡平市では今まで教育長が行ってきたとおり、これからも教育長が行う方針でいきたいと思っています。ただし、今後考えていく余地がないというわけではありません。

古川議員 毎年3月定例会で行う教育委員会の「教育行政運営基本方針と重点演述」を八幡平市では教育長が述べています。しかし、他では、教育委員会の責任者である教育委員長自らが行っている市町村もあります。八幡平市でも教育委員長自ら、議会や市民の皆さんに新年度の方針を述べていかげでしょうか。

委員会の対応のまずさから、教育委員会再生への提言や意見が出されます。教育委員会のありようをどのように考えますか。

教育委員長 国の教育委員会改革の動向を見守りながら、当教育委員会でも議論を検討を重ね、21世紀の八幡平市を担う人づくりに努めます。

文化財の活用

古川議員 文化財の活用が充実していないようですが、今後どのように進めますか。

教育委員長 本年度から博物館に専任の学芸員2人を配置しました。資料の展示、収集や全市域での教養講座の実施、各種催し物などを企画していきます。

スポーツの推進

古川議員 ニュースポーツなどを広く市民へ指導するためには、どこかに特化していくべきではないですか。

体罰の調査結果

古川議員 昨年度実施した体罰の実態調査の結果はどのようなものでしたか。

教育委員長 24年度に八幡平市では、児童生徒や保護者、教員から体罰と認められる事案の回答はありませんでした。



教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています（毎月開かれる定例教育委員会議）

質問した事項

- 教育委員会のありようについて
- 事務管理の点検評価の報告書について
- 体罰について



まつうら ひろゆき 議員
松浦博幸

農業・農村所得倍増目指して

農地集積で規模拡大し向上

松浦議員 先頃、国では成長戦略の農業強化策として「農業・農村所得倍増目標10カ年戦略」を示しました。どのような未来図で農業経営に望めば良いか伺います。

松浦議員 川原目堤のしゅんせつ（泥上げ）工事について、調査の上、事業を実施できないでしょうか。

市長 昨年度から5年先、10年先の地域の農業の未来を地域で計画する地域農業マスタープラン（人・農地プラン）の作成に取り組んでいます。プランに位置付けられた経営体には、規模拡大加算や青年就業給付金、農地集積協力が交付されます。地域農業の将来について座談会での話し合いを

市長 川原目堤は、土砂混流などで、底面に堆積している土砂と推測され、貯水量は減少していると想定されます。23年度に県にしゅんせつ事業の相談をしましたが、補助対象外という回答をいただいています。今後機会あるごとに、県へ事業要望していきます。

市長 川原目堤は、土砂混流などで、底面に堆積している土砂と推測され、貯水量は減少していると想定されます。23年度に県にしゅんせつ事業の相談をしましたが、補助対象外という回答をいただいています。今後機会あるごとに、県へ事業要望していきます。

松浦議員 国では、6次産業の市場規模を拡大し、所得向上を目指していますが、八幡平市の考えを伺います。

市長 現実に市内で6次産業で頑張っている人もいますが、それで生計を立てる農家はほとんどいない状況です。農協を主体とした取り組みに、行政が支援していく考えです。

防災教育の指導と訓練内容

松浦議員 市内小中学校での防災教育の指導と防災訓練の実施状況はどのように

なっていますか。

教育長 市内全ての小中学校で、地震と火災を想定した避難訓練を年に最低1回ずつ行っているほか、総合的な学習の時間などで岩手山噴火の仕組みや発生時の対応、砂防ダムの役割などの重要性について、体験的な活動を通して探究的に学習を進めています。防災教育を自校の教育課程に明確に位置付け、計画的、系統的に実施しています。



防災への取り組みは学校で取り組むだけでなく、地域と学校が一体になって取り組むことも重要です（昨年11月11日に柏台小学校周辺で実施された火災防御訓練）



たかはし えつ ろう
高橋悦郎 議員

行政評価シートの公表

来年度から公表する予定

高橋議員 行政評価システムは、県内全ての市が取り組んでいます。このシステムは、自治体が進める事業や施策の有効性、達成度、効率性の観点から点検、評価するとともに、市民に対してその説明責任や市民参加の行政運営を行うものです。八幡平市は導入から既に7年も経過していますが、公表されていないのはなぜですか。

市長 19年度から実施し、試行錯誤を繰り返してきました。23年度は東日本震災後の被災地支援対応などで一時中断したため、取り組みが遅れたものです。昨年度から進め方を再構築し、本格的に取り組んでいます。**高橋議員** 行政評価について一つの事業を例に挙げて伺います。安代地区の市営根石牧野と丑山牧野を森林化して林野庁に返還する事



遊休化により国に原状を回復して返還するための森林化が進められている丑山牧野

業が進められていますが、事業費は約1億円予定されています。この二つの牧野の賃借料は、年に約100万円、100年分の賃借料に相当する事業費です。行政評価の観点から見れば、自然の力で森林化する選択肢もあるべきと考えます。

企画総務部長 本年度、この事業の行政評価シートを提出してもらう方向で検討します。

高橋議員 いつから行政評価の公表をしますか。

副市長 まだ改善が必要であり、来年度に公表する予定です。

新西根病院に小児科・耳鼻科の設置

高橋議員 新しい西根病院を建設するとき、市民からの要望が多い小児科や耳鼻咽喉科の設置を前向きに努力するべきではないでしょうか。また、建設場所はどこを考えていますか。

市長 医師不足の中、専門医の確保が大きな課題です。医大や中央病院との医師派遣要請の協議の中で検討します。新病院建設では、将来診療科目を増やせる余裕のある施設整備を行います。建設場所については、西根病院あり方検討委員会から「地域医療を確保する観点から市が最終的に判断すること」と報告されていますが、まだ決まっています。同委員会の議論を踏まえ、早急に建設場所の選定を進めていきます。



現在は松川大橋付近で車両が制限され、網張―松川間は登山道として歩行者だけが通行可能となっている通称奥産道

工事再開は現実的に難しい

高橋議員 電気自動車やハイブリット車などクリーンエネルギー開発も進む中で、県道雫石東八幡平線（網張―松川間、通称奥産道）は全線開通になってこそ八幡平市の観光振興の一翼を担うものと思います。工事再開について国や県への要望活動を行うべきだと思います。見解を伺います。

市長 車両を対象とした全線開通に向けた工事再開は現実的には大変難しいです。市としては、今後松川側での車両通行制限区間の利用者を限定した通行の試行や

電気自動車の運行の可能性など、クリーンエネルギーの活用検討を含めて、自然環境の保全と同時に、観光振興も図られるよう、整備済み区間の有効活用について県に働き掛けていきたいと考えています。

高橋議員 滞在型観光を進めるならば車両での全線開通を考えていくべきだと思いますが、市長はどうして駄目だということですか。

市長 松川側の赤川の源流までは整備をして車両が通れるよう、県に要望はしています。

高橋議員 旧松尾村に生まれ育ち、先人の願いを遂行していくため、雫石町、滝沢村、八幡平市の議員有志で、同県道の道路促進議員連盟を1月に設立しました。今後、国や県に働き掛けを進めていきますので、ご理解いただきたいと思います。

高橋議員 旧松尾村に生まれ育ち、先人の願いを遂行していくため、雫石町、滝沢村、八幡平市の議員有志で、同県道の道路促進議員連盟を1月に設立しました。今後、国や県に働き掛けを進めていきますので、ご理解いただきたいと思います。

奥産道車両全線開通に向けて



たかはし みつ ゆき
高橋光幸 議員

質問した事項

- 県道雫石東八幡平線（通称奥産道）について
- 小水力など発電導入について

小水力発電の今後

高橋議員 小水力発電設備の新規建設など、導入推進について思案していますか。

市長 八幡平市が地熱発電や水力発電など「再生可能エネルギーの町」としてイメージアップを図ることで、教育旅行などに対応でき、観光振興にもつながると考えています。昨年7月から再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が始まったことで、有利な補助がなくなったため、市としての新規建設は見合わせていますが、民間が実施するものにはできる限り支援します。

高橋議員 市内には小水力発電設備の建設候補地がありますが、見解を伺います。

市長 電力会社の受電能力の問題があり、関係機関と協議中です。解決できれば事業には全面協力します。



三浦 みづのり 議員

質問した事項

- 地域防災計画について
- 少子化・人口減少対策について

防災専門官の採用時期と任期

10月から1年更新の5年継続

三浦議員 内閣府の有識者検討会が5月16日、火山の大規模噴火に備えるため、都道府県を越えた広域避難計画をつくる必要があるとの提言をまとめました。対象は岩手山などの47の活火山です。市では、本年度防災専門官の採用を計画していますが、時期や任期、業務内容などを伺います。

市長 防災専門官は10月からの採用予定で、任期は1年更新の5年継続を基本とします。総務課消防防災係に配置し、当面は自主防災組織の育成や地域防災計画の見直しなどを担当します。

三浦議員 防災力の強化のため、防災専門官を含めた市と消防、警察、自衛隊による連携が必要ではないでしょうか。

企画総務部長 来年度、県総合防災訓練が八幡平市で実施される予定であり、本



市の防災拠点としても、来年の完成が待たれる新庁舎の建設現場

年度から県や自衛隊、警察とは打ち合わせを行っています。

三浦議員 見直しが行われる地域防災計画の中で、新庁舎は防災拠点になり得るのでしょうか。

副市長 新庁舎には当然災害対策本部機能があるものと

で、通信に係るものを一極集中し、自衛隊や警察などの関係機関も入って災害対応できる庁舎を目指します。

人口減少対策に庁内組織を拡充

三浦議員 少子化、人口減少が進む中、市では定住化

の促進などの対策は講じていますが、他には何がありますか。また、人口が減っている時の予算の組み方をどのように考えていますか。

市長 八幡平市は観光資源や自然エネルギーを利用して交流人口を増やしていくことが最大の人口減少対策と考えています。また、人口減少していくことを前提に、予算編成などを進めなければならぬと思います。

三浦議員 群馬県桐生市では、市役所職員で構成された「人口減少対策委員会」が要因分析などを行い、施策を取りまとめた提言書を市長に提出しました。八幡平市でも同様に、庁内に組織を設けて進めるべきではないでしょうか。

副市長 現在ある「八幡平市定住促進庁内委員会」の所掌事務を拡充する方向で検討していきます。



市の将来像「農と輝の大地」の実現に向け、北東北の新交流拠点を目指します（十和田八幡平国立公園・八幡沼）

工藤議員 2期8年目を迎えて、これまでの市政運営に対する市長の自己評価を伺います。

市長 総合計画前期基本計画では、旧3町村の均衡ある発展と一体感の醸成を図りつつ、生活環境の向上や保健、福祉、医療の充実、教育施設の整備など、各施策において順調に目標達成が図られました。

3年目を迎えている後期基本計画では、環境基本条例の策定や市内全域へのコミュニティバスの運行、各小学校区への学童保育ク

ラブの設置などを実施したほか、それを支える財政面でも将来負担比率を抑えるなど、着実に事業の推進を図ってきたものと自負しています。

工藤議員 今後の八幡平市の進むべき道、将来像についてのを伺います。

市長 「農と輝の大地」の実現に向け、農業や観光、商工業の発展による北東北の交流新拠点を目指すべきと考えます。

工藤議員 大更駅周辺整備では、何よりも優先して駅前の渋滞解消をする必要があります。ロータリーと駅東側との自由通路の早期設置を強く要望します。

市長 この計画は平成14年に基本的な構想を策定したときからJRと協議を進めており、肅々と計画通りに進めていけるものと思っています。

地域福祉計画の個別計画の一つである「健康づくり21プラン」については、市民一人一人が自らの健康づくりに取り組めるよう、地域関係者と行政が連携し、社会全体として個人を支援していくことが重要であると認識しています。今後の事業展開のキーワードは、健康づくりサポーターや食生活改善推進員などの人材育成にあると考えています。



工藤 たくし 議員

質問した事項

- 市長の今までの市政運営に対する自己評価と八幡平市の将来像について
- 八幡平市地域福祉計画について

今後の八幡平市の将来像は

北東北の交流新拠点を目指す

地域福祉計画の実現

工藤議員 八幡平市地域福祉計画を実現させるためには、何が必要と考えますか。

市長 自助、共助、公助のバランスを高い水準で維持していくことが大切であり、市民や地域ができること、行政が行うべきことを明確化し、それぞれが支え合うことで、地域福祉が向上していくものと考えています。

議会の動き（4月26日から7月31日まで）	
4月	
▶26日	議会運営委員会
▶30日	市議会第1回臨時会、市政調査会理事会、市政調査会総会
5月	
▶8日	全国自治体病院経営都市議会協議会第41回定期総会
▶9日	産業建設常任委員会所管事務調査
▶13日	教育民生常任委員会所管事務調査
▶20日	総務常任委員会所管事務調査
▶21日	産業建設常任委員会協議会、全国温泉所在都市議会議長会第82回役員会・第42回総会
▶22日	全国市議会議長会第89回定期総会
▶23日	県市議会議長会「国際リニアコライダー東北への誘致に係る臨時実行運動」
▶31日	市政調査会
6月	
▶4日	全国過疎地域自立促進連盟第120回理事会
▶7日	議会運営委員会、会派代表者会議
▶14日	議会運営委員会、市議会第2回定例会（～21日）、市政調査会理事会、市政調査会臨時総会、議会広報特別委員会
	議会運営委員会、産業建設常任委員会
	総務常任委員会、教育民生常任委員会
	議会運営委員会
	議会広報特別委員会所管事務調査
	議会広報特別委員会
	新生会会派研修（～7月3日）
7月	
▶1日	全国市議会議長会基地協議会第79回理事会
▶3日	市政クラブ会派研修（～6日）、緑松会・自由クラブ・無会派（渡邊正議員）合同研修（～6日）
	産業建設常任委員会協議会
▶11日	平成25年7月盛岡地区広域消防組合議会臨時会
▶16日	雫石東八幡平線道路促進協議会総会・研修会
▶22日	八起会会派研修（～27日）
▶23日	第60回岩手郡町村議会議員大会研修会
▶26日	六市議会議員協議会スポーツ交流会
▶27日	産業建設常任委員会協議会、議会運営委員会
▶29日	第51回知事を囲む懇談会、無会派（北口和男議員）研修（～31日）、議会広報特別委員会
▶30日	全国市議会議長会社会文教委員会正副委員長会議・第147回委員会、大阪府茨木市議会会派行政視察来庁
▶31日	

9月定例会の日程（予定）	
期 日	内 容
8月30日(金)	議案上程 ほか
8月31日(土)	休 会
9月1日(日)	休 会
9月2日(月)	一般質問
9月3日(火)	一般質問
9月4日(水)	一般質問
9月5日(木)	議案審議
9月6日(金)	決算特別委員会
9月7日(土)	休 会
9月8日(日)	休 会
9月9日(月)	決算特別委員会
9月10日(火)	決算特別委員会
9月11日(水)	休 会
9月12日(木)	議案審議、請願・発議案審議

※詳しい日程は決まり次第、市議会ホームページに掲載します。

傍聴など詳しくは、議会事務局（☎76-2111、内線1321～1323）まで問い合わせください。

クイズ

問

○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう？

27年度から市内の公立保育所は○カ所

応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、議会だよりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で**10人**に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
 ※お寄せいただいた個人情報は、本目的以外には使用しません。

あて先

〒028-7192(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより 係
 F A X：0195-76-2980
 Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp

応募期限

平成25年9月17日(火)(当日消印有効)

前回(No.31)の正解

22(人)

応募者 16人 正解者 16人
 当選者 佐藤萌々さん(打田内)、田村寿子さん(大更)、福田久美子さん(柏台)、小野寺幸子さん(野駄)、小田島トシ子さん(吠田)

国

道282号西根バイパスが完成しないため走りにくいことや、道路標識が少なく分かりにくいので、他から来た人に親切ではないと感じます。また、大更の街中が寂れてきて、若者が楽しめるような場所もなくなってきてしまい、八幡平市を離れる人たちが増えるのではないかと心配しています。（大更・58歳女性）

病

院にかかるときに受給者証を提示すれば医療費を控除してもらえないようにしてもらいたいです。子どもは頻繁に病院にかかります。手元にお金が無ければ、病院に行くのもちゅうちょします。市に後から請求するのも、主婦にはかなりの手間になると思います。（柏台・32歳女性）

田

代平高原の一本桜を見に行ってきました。たくさんのカメラマンや登山家がいきました。来年の観光スポットになればいいですね。昨年度は、八幡平市広報特派員に応募し、楽しませてもらいましたが、1年間で終了してしまいました。八幡平市には腕の良いカメラマンがいます。再開してほしいです。（野駄・66歳女性）

年

金や雇用保険の手続きなどは盛岡に行かなければなりません。八幡平市でも手続きできる出張所があれば便利だと思います。（大更・61歳女性）

議

員定数を24人より2人削減して22人とする記事があり、人口も減少している中でその通りだと思います。（吠田・68歳女性）

平成24年度政務調査費収支報告								
市では、調査研究などの議員活動に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額2万円(年額24万円)の政務調査費(3月1日から「政務活動費」に名称変更)を交付しています。24年度に各会派などに交付された政務調査費の収支報告は下表のとおりです。								
■平成24年度八幡平市議会政務調査費収支報告一覧								
会派・議員名 (所属人数)	交付額 (A)	支 出 内 訳						
		調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	事務所費	合計額(B)
新生会(5人)	1,200,000円	1,169,680円	12,665円			15,525円	3,780円	1,201,650円
市政クラブ(5人)	1,200,000円	1,002,761円	11,120円			53,100円	136,857円	1,203,838円
八起会(4人)	960,000円	669,210円	14,000円			17,410円	280,212円	980,832円
自由クラブ(3人)	720,000円	691,905円	6,000円			40,425円		738,330円
緑松会(3人)	720,000円	698,636円				25,020円		723,656円
米田定男	240,000円	3,950円		208,214円		29,140円		241,304円
高橋悦郎	240,000円	3,234円		208,582円		32,600円		244,416円
北口和男	240,000円	256,130円				10,420円		266,550円
渡邊 正	240,000円	233,274円	3,000円		22,360円	3,625円		262,259円
計	5,760,000円	4,728,780円	46,785円	416,796円	22,360円	227,265円	420,849円	5,862,835円
※合計額(B)が交付額(A)を超えている場合、執行率は100％・返還額は0円となります								



(写真左から)関善次郎、小笠原壽男、伊藤一彦、高橋守議員

当市議会の関善次郎議員、小笠原壽男議員、伊藤一彦議員、高橋守議員の4人が全国市議会議長会から表彰を受けました。これは、全国市議会議長会表彰規程に基づき、市議会議員の勤続年数が通算10年以上（町村議会議員としての年数は、その2分の1を市議会議員として算入）で、市議会議員として実際に3年以上務めた功績によるものです。表彰状は、5月22日に日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第89回定期総会で贈られ、6月14日の第2回定例会初日に、議場で瀬川健則議長から伝達されました。



(昨年8月5日、子ども伝統芸能フェスティバル)

先人から 受け継ぐ(13)

より き ねん ぶつ けん ばい 寄木念仏剣舞

寄木念仏剣舞は、約320年前、天候不順による凶作続きと岩手山の噴火による民家の破壊や降灰で、数多くの犠牲者が出たときに、修行途中で通りかかった山伏「伊藤西念」が、村人を勇気付け犠牲者の霊を慰めるとともに、「五穀豊穡」「悪魔退散」を願い、踊りを教えたのが始まりと言われています。

踊りの種類は、「太刀踊り」や「駒踊り」、12種類の「中踊り」があります。

現在は、寄木小学校の児童を中心に伝承されており、学校の運動会や文化祭などで披露されています。

◎保存会代表 伊藤政子さん

◎市指定無形民俗文化財指定日 昭和50年10月11日(旧松尾村指定)



市民の代表である議員の皆さんには、積極的に地域の声を吸い上げてもらうことで、市民のニーズをつかむ活動を期待します。

ペンションを経営する傍らで、八幡平サーキットサンマリノグラウンドを運営していて、市内にはたくさん観光資源があるのを感じます。有効活用して市の観光振興に取り組み、共存していくことが大切だと思います。「八幡平・安比ゆきフェスティバル」期間中に安比高原スキー場、八幡平リゾートパノラマ・下倉スキー場の共通リフト券付の宿泊パックが販売されましたが、これをシーズンを通してできるようにしてもらいたいですね。

地域の資源活用した 観光振興の推進を

あきや ひろ ゆき
秋谷弘之さん(温泉郷)

議会のまど